

2019年7月25日

東日本旅客鉄道株式会社

横浜支社

津波を想定した避難誘導訓練の実施について

JR東日本横浜支社では、9月1日に鶴見線の浅野～海芝浦駅間において、東日本大震災を教訓に、大地震による津波を想定した避難誘導訓練を実施いたします。

訓練は、2列車同時に行い、沿線企業や周辺の学校をはじめ、国土交通省関東運輸局、各鉄道事業者の皆さまなどにもご参加いただき、ハシゴを使用しない方法による、車両からの降車と避難誘導を行います。

1 日 時

2019年9月1日(日) 9時30分 ～ 12時00分頃まで

2 訓練場所

鶴見線 浅野～海芝浦駅間 新芝浦駅付近（住所：横浜市鶴見区末広町2丁目付近）

3 参加者

当社社員のほか、警察、消防、鶴見線沿線にある企業や学校、国土交通省関東運輸局、各鉄道事業者の皆さまなどにご参加いただき、約900名規模の訓練を予定しております。

4 訓練概要

鶴見線の車両を使用した団体専用列車を鶴見～海芝浦駅間で2編成運転いたします。

大地震により鶴見線の列車が、それぞれ浅野～新芝浦駅間と海芝浦～新芝浦駅間に停車した後、津波警報が発表されたという想定のもと、ハシゴを使用しない方法で車両から線路上に降車いただきます。なお、1編成は従来の比較的丁寧な放送、もう1編成は迅速な避難を促す放送を行い、効果を検証します。

その後、訓練で指定した避難場所（東芝エネルギーシステムズ(株)敷地内）まで乗務員が避難誘導いたします。



過去に実施した訓練の様子